

2023年度第3四半期決算について

2024年2月8日

株式会社NTTドコモ

あなたと世界を変えていく。

NTT
docomo

※本資料に記載されている財務数値は、社内管理目的で作成されたものであり、非監査の参考情報です。

IFRS

(単位：億円)

	2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	対前年同期比	
			増減	増減率
営業収益	44,244	45,188	+ 945	+ 2.1%
営業利益	8,888	9,022	+ 135	+ 1.5%
EBITDA	13,893	14,262	+369	+2.7%
当社株主に帰属する 四半期利益	6,435	6,275	▲159	▲2.5%
設備投資	4,484	4,185	▲299	▲6.7%

第3四半期
セグメント別実績

- ✓ 営業収益はすべてのセグメントで対前年増収
- ✓ 営業利益は法人・コンシューマ通信で対前年増益

IFRS

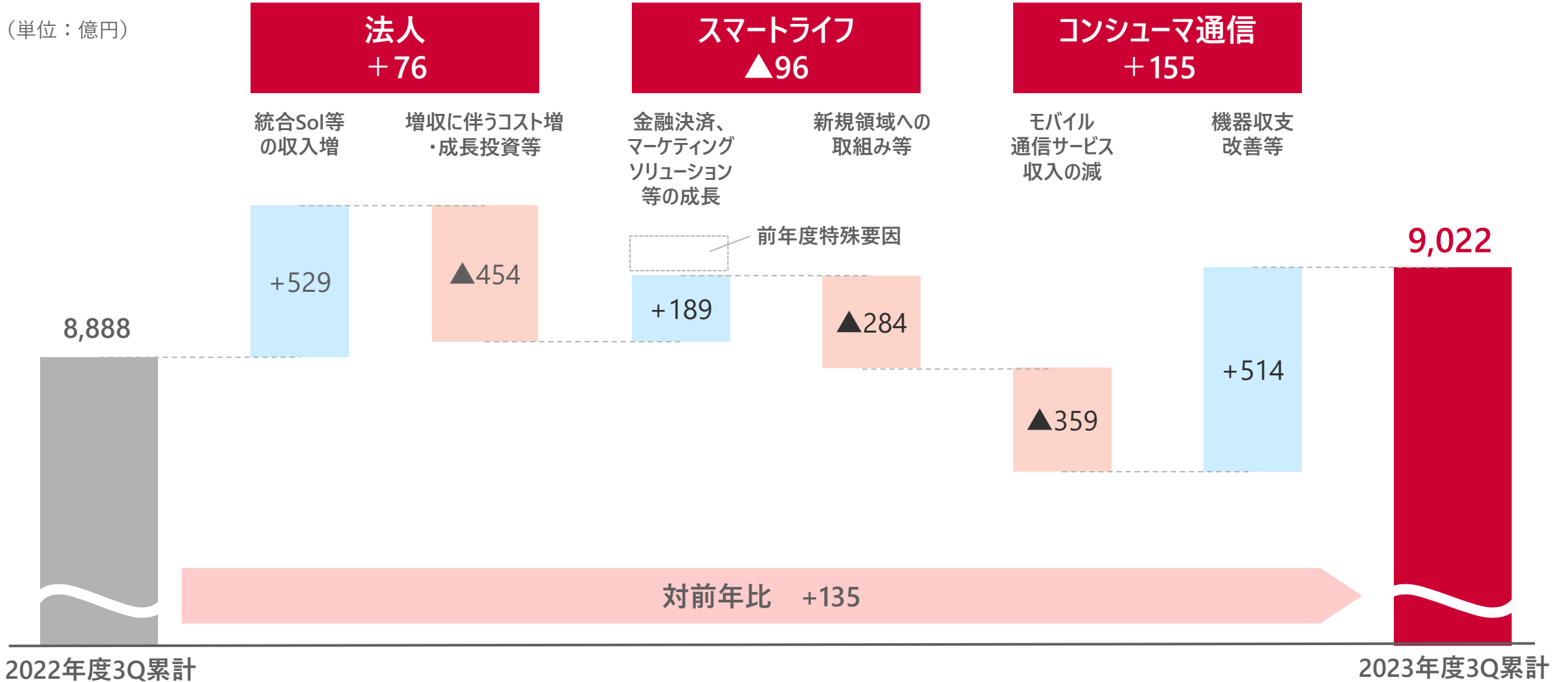
(単位：億円)

		2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	対前年同期比	
				増減	増減率
法人	営業収益	12,958	13,487	+ 529	+ 4.1%
	営業利益	2,225	2,301	+ 76	+ 3.4%
スマートライフ	営業収益	7,676	7,959	+ 283	+ 3.7%
	営業利益	1,714	1,619	▲96	▲5.6%
コンシューマ通信	営業収益	25,489	25,588	+ 99	+ 0.4%
	営業利益	4,948	5,103	+ 155	+ 3.1%

第3四半期
営業利益増減

✓ 営業利益はスマートライフが減益となったが、
コンシューマ通信・法人の増益により対前年増益

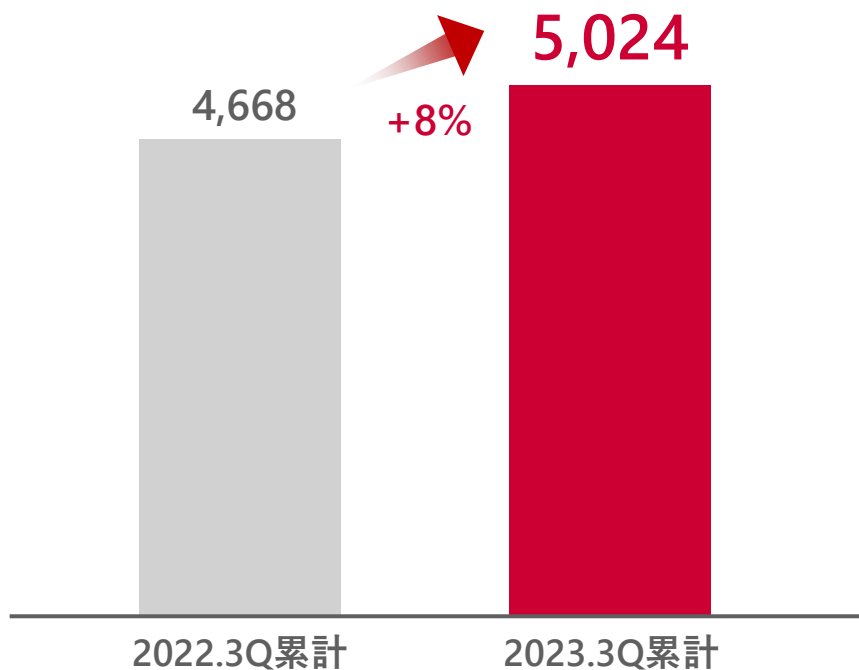
(単位：億円)



✓ 社会・産業の課題解決に向けたソリューションの強化

統合ソリューション収入

(単位：億円)



IoTソリューションの拡大

- 注力領域であるIoTソリューションはYoYで+13%の伸び
- 超小型GNSS受信端末による、精緻なデバイス制御や作業員の安全管理の実現など、IoTソリューションの適用領域をさらに拡大

【モノに装着しての測位】



【人による測位・人の測位】



23年10月提供開始

超小型All in one受信端末
「MobileGNSS」



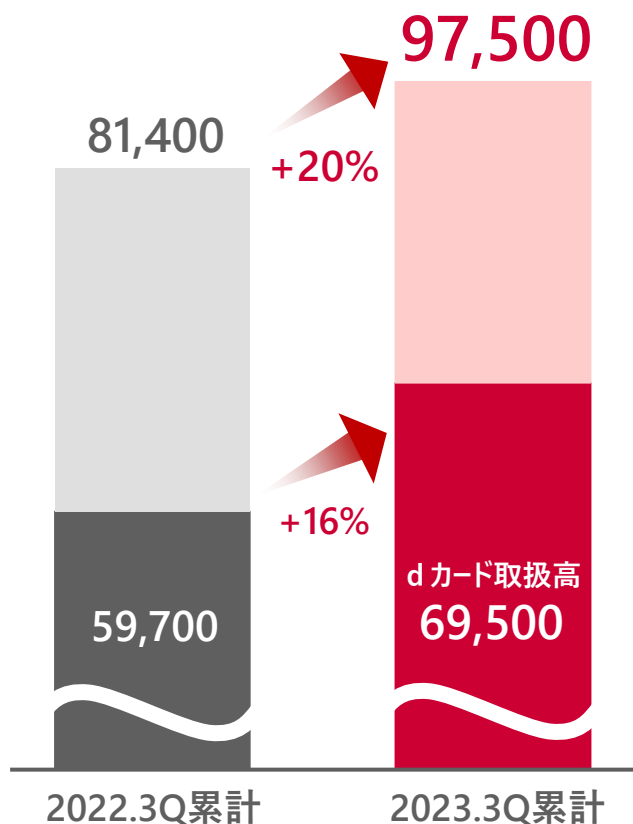
- ✓ 超小型受信端末（アンテナ、LTE、バッテリー内蔵）
- ✓ モバイル通信サービス
- ✓ 位置補正情報サービス

※GNSS：Global Navigation Satellite Systems
※位置補正情報サービス：誤差数センチメートルの位置補正情報の提供

- ✓ 金融・決済取扱高は順調に拡大
- ✓ マネックスグループ・マネックス証券との協業で更なる顧客基盤拡大を図る

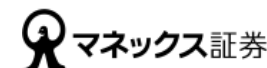
金融・決済取扱高

(単位：億円)



マネックスグループ・マネックス証券との業務提携を開始

両社のアセットを活用した取り組みを着実に実行
お客さまに寄り添った金融サービス提供を実現



プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ教室「くらしの相談会」にて新NISA講座開催 ・口座開設等に応じたdポイント付与キャンペーンの実施 	24年1月～
サービス連携	<ul style="list-style-type: none"> ・d払いアプリ上に証券口座の開設等の導線を設置 ・dカードでのクレジットカード積立 ・取引内容に応じたdポイントの付与やdポイントを使った投信購入 	24年度中(予定)
投資情報・金融教育コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ・両社オウンドメディアにてコラボ企画を掲載 ・教育コンテンツを順次配信予定 	24年1月～ 順次拡大予定

初めての方にも手軽で簡単な
資産形成サービス

1人ひとりへの最適な商品提案
(金融CRM)

AIによるお客さまサポート

次世代金融商品の取り扱い

✓ 生活圏を中心とした対策によりお客さま体感品質は大きく改善

「点」と「線」への集中対策

12月までの対策は計画どおり完了し、通信サービス品質が大きく改善

点 全国2,000か所以上

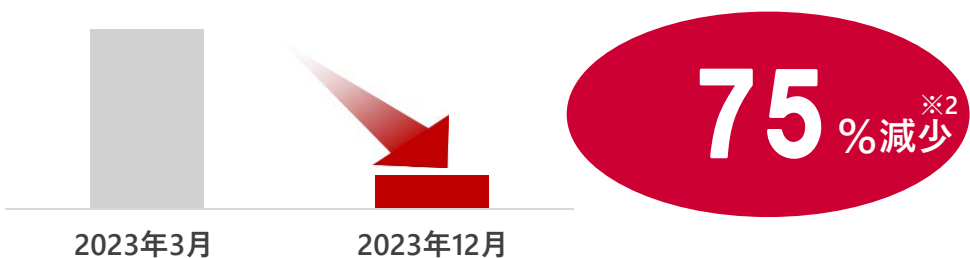
改善箇所の
下りスループット※1
170%

線 主要鉄道動線

乗車時間の
90%
ご不便なく動画視聴可能

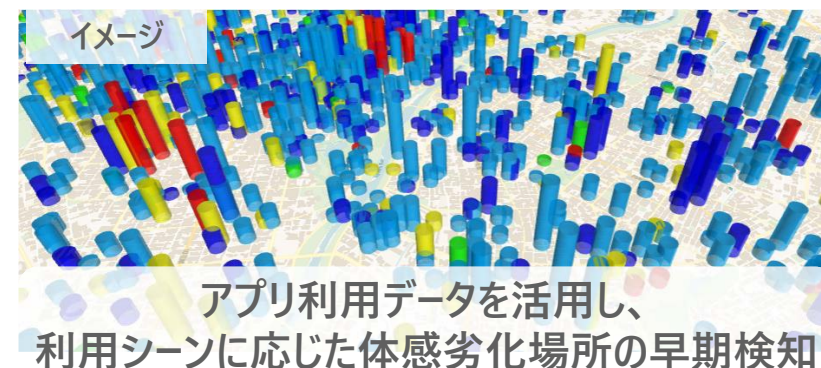
設備の増強
を継続

通信サービス品質に対するネガティブな声が大きく減少



更なるお客さま品質改善に向けて

従来の品質確認方法に加え、
利用シーンに応じたお客さま体感品質の把握を実現

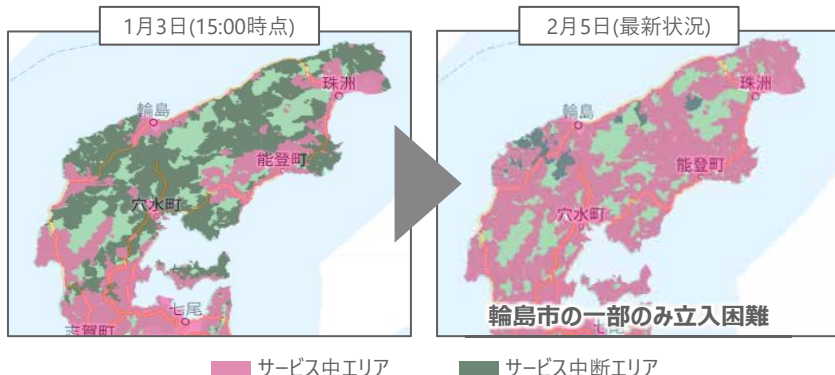


- ✓ 通信設備の復旧・復興に加えて避難所で生活する方へのサポートを強化
- ✓ 災害に強い通信ネットワークの構築

通信サービスの復旧状況・被災地支援

移動基地局車などの活用による迅速な応急復旧を実現
立入困難エリアはルート確保後2-3日にて復旧

通信サービスの復旧状況



サービス中断エリアでの通信手段確保

WIDEST-R

自治体等に372台提供※
被災地活動を支援

自社保有衛星サービス 船上基地局

※2024年2月5日時点

通信サービスのレジリエンス強化

陸・海・空 それぞれの通信手段を強化し、
更に災害に強い・復旧力のあるネットワークの構築へ

既存設備の強化

- ✓ 災害リスクを考慮した伝送路の更なる冗長化
- ✓ 可搬基地局等の更なる小型/軽量化と駆けつけ手段の多様化

新技術の活用

- ✓ 陸上・船上基地局に低軌道衛星(Starlink等)のバックホールを導入
- ✓ HAPSによる被災エリア救済の検討

通信ネットワークの復旧のみならず、
被災された方々に寄り添った**ところとからだのケア**を総合的に支援

オンライン再診

地域医療の再生支援

ドコモ公衆ケータイ

貸出用スマホ・フィーチャーフォンを用意

映像サービス

Lemino等の視聴環境整備

Wi-Fiサービス

Starlink等の活用

充電サービス

電源の供給も支援

低軌道衛星回線



HAPS



あなたと世界を変えていく。

^{NTT}
docomo

予想の前提条件その他の関連する事項

本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料に記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標又は登録商標です。